

2009.3.1 第1086号  
ISSN 0913-0217

発行人/長 瀬 清  
発行所/北海道医師会  
〒060-8627  
札幌市中央区大通西6丁目  
TEL(011)231-1432  
FAX(011)221-5070

# 北海道医報

2009  
**3**  
月号



北海道美の遺産

国松 登 雪野 (魚の碑)

北海道立近代美術館 所蔵

# CONTENTS

北海道医報  
平成21年3月1日 第1086号

指標／平成21年度 介護報酬改定	前川 勲	3
医の倫理綱領		11
北海道医師会公示・告示		12
解説／医療施設に係る開発許可制度の変更について	藤原 秀俊	14
報告／第25回 北海道医療・福祉関係職能団体等懇談会	北野 明宣	17
北海道救急医療フォーラム	目黒 順一	18
地域医療に関わる地域別意見交換会 (3)	直江 寿一郎	21
平成20年度 道内急病センター (診療所) 連絡会	目黒 順一	22
平成20年度 救急医療研修会	目黒 順一	22
平成20年度 北海道医師会救急医療対策部会全体会議	目黒 順一	23
平成20年度 医療安全講演会	山本 直也	24
平成20年度 北海道小児救急地域医師研修会	目黒 順一	26
「医学生vs先輩医師との懇談会」3大学開催報告	藤井 美穂	28
日医報告／平成20年度 家族計画・母体保護法指導者講習会	山本 哲三	34
投稿／トランス脂肪酸 (Trans Fat) に係る 日高支庁職員および7力町職員等の意識調査	伊東 則彦、中澤 広、中村 宏 斎藤 泰一、森 満	36
勤務医から		38
税務相談室／親族に支払う対価と資産損失	中村 孝一	39
随筆／医事・文談	天涯 茫々生	40
北海道医歌人会詠草		41
理事に聞く／竹田公一、飯塚 一、沖 一郎、城 守 各理事		42
会員のひろば／枯葉おじさん	後藤 義朗	44
検診の自己抗体	向井 正也	44
「家業」の喪失と日本の貧困化	中村 一博	46
1. 17	秀毛 寛己	47
水戸黄門伝記	本間 勉	48
郡市医師会だより／第2回 医療町民フォーラムを振り返って	秀毛 寛己	50
医学会・医学講演会等 開催情報		52
中央52 道南57 後志57 日胆58 空知58 道北59 北見60 道東61		
訃報		62
その他開催情報		62
会議室／第20・21回 常任理事会、第6回 全理事会		64
新規指定医療機関		67
売貸医院・医師招聘情報		68
道医の動き		71
道医師国保の頁		72
季節風／「孤立死」ゼロを目指して	榊山悠紀士	76

## お知らせ

国民年金保険料の滞納について②〇／道医サポートセンターのご利用について③⑤  
認定産業医制度 研修会一覧⑥①

北海道医師会会員数 8,474名 (-1) うち日本医師会会員数 6,190名 (-13)

A	2,592名 (-3)	B2	4,547名 (+3)	C2	191名 (+3)
B1	555名 (+1)	C1	106名 (+1)	C3	483名 (-6)

平成21年1月31日現在 ( ) 内前月比

## 北海道美の遺産

### 作品介绍

くにまつ のぼる  
国松 登

雪野 (魚の碑)

1907 (明治40) 年～1994 (平成6) 年

函館に生まれる。1914 (大正3) 年、小樽に移住。  
1959 (昭和34) 年の作品。油彩、キャンパス (136.7×136.8)。

19歳の時、小樽の洋画壇の中心であった三浦鮮治の主宰する裸童社研究所に入りデッサン、油絵を学ぶ。上京後は水彩画家・赤城泰舒の指導を受けた。

三岸好太郎との出会い、1933 (昭和8) 年の独立展入選をきっかけに作者の画才が開花することとなった。小樽に戻った後は、

1938 (昭和13) 年から梅原龍三郎らが中心となっていた国画会に出品。1940 (昭和15) 年には従軍画家として京城 (現・ソウル) や満州の原野を取材。この時の作品が中央画壇で評価される。

1951 (昭和26) 年から始まる「眼のない魚」シリーズでは水底の眼のない魚 (黒鯛) を繰り返し描き、抽象的な構成やマチエールの効果を追求した。水底の薄明から雪景色へと展開するのは1955 (昭和30) 年からで、本作品によって「眼のない魚」の時代が終わりを告げた。1961 (昭和36) 年に発表された「氷人」以降は、30年にもわたって氷の幻想世界が描かれている。

(資料提供：北海道立近代美術館)